

第十二回千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する調査特別委員会の「中期計画（素案）」に対する委員意見概要

日時：平成31年2月26日（火）13時00分から14時20分まで

場所：議会棟大会議室

案件：千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する調査について

③千歳市公立大学法人評価委員会審議経過報告 他案件略

【中期計画（素案）に対する委員意見概要】

- ①大学院研究科の専攻数を学部学科数と同じにするように改組するのか。
- ②学部学科の構成と「光」がどのような関係を持つのか。
- ③現在大学が保有する「現金・預金約11億円」は「資金計画」中に計上しているのか。
- ④市内の他高等教育機関を含め現在の連携状況はどうか。
- ⑤大学院における単位互換は4月から実施できるか。
- ⑥札幌駅周辺にサテライトキャンパスを設置する科技大の考え方は。
- ⑦次年度、どこに地域連携センター設置するのか。
- ⑧公立大学法人職員の退職金はどのように取扱うのか。
- ⑨FD、SD研修のこれまでの取組状況はどうか。
- ⑩「施設・設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置」の中で、校舎の新增設の記載は適当でないと考えてるが所見は？
- ⑪指標の設定において、期間が不明瞭な指標が多い。
- ⑫「情報公開及び広報活動に関する目標を達成するための措置」で指標がホームページのニューストピックスの件数や新聞社へのプレスリリースの回数だけでなく、市民や他に対して周知の方法や広報活動を記載すべきと考える。
- ⑬余剰金等は、教育研究の質の向上、運営、設備への充当のみならず地域連携など幅広く活用できるようにすべき。
- ⑭指標がわかりにくい。
- ⑮成果指標を設定できるところは成果指標を設定すべき。